

和紙の里 ひおき

発行 平成29年12月25日
日置地区まちづくり協議会
鳥取市青谷町山根218
電話 0857-86-0836
FAX 0857-86-0837
Eメール cc-hioki@it.city.tottori.tottori.jp
題字 棚田 大さん

6号



和紙フェスタ&ひおき収穫祭

防災部会長 長谷川 具章

昨年に続き、11月19日(日)午前10時から和紙の里・日置で「因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭」が盛大に開催されました。あいにくの天候により日置体育館でのオープニングイベントとなりましたが、伝統芸能の紙漉き唄、因州岩坪紙漉き踊り、はねそ踊り、そしてオカリナの演奏によって華やかにオープンしました。

日置体育館では、青谷町の園児、児童、生徒たちの因州和紙を使った作品や町内各地区公民館作品が展示されるとともに、日置地区で創作活動を行っている和紙加工の現代の名工秋吉保久氏や陶芸家の石原幸二氏の作品が出品されるなど、盛り沢山の作品展示となりました。



力作が並んだ展示会場



青谷中学校生の作品



すくすく保育園児の作品



秋吉保久さんの和紙絵画



山根薫 石原幸二さんの作品



来賓の方々に
ご挨拶いただきました

軽快な司会で
みんな笑顔に



オープニングイベント

午後からは、書家柴山抱海氏と鳥取東高等学校書道部による書道パフォーマンスが賑やかに開催されました。柴山先生の揮毫(きごう)、鳥取東高校生の躍動感が溢れる書道パフォーマンス、それから参加者による夢をテーマとした揮毫体験が行われ、興味深く楽しい書道パフォーマンスとなりました。

あおや和紙工房多目的ホールでは、折り紙、ちぎり絵、和紙の花のワークショップが開催され、多くの皆さんが和紙工芸品作りに真剣に打ち込んでいました。体験工房では、字漉き、溜め漉き等の無料紙漉き体験が行われ、貴重な手漉き体験を楽しんでいただくなど、伝統工芸品である因州和紙の価値を再認識していただくことができました。



書道パフォーマンス

"夢"いっぱい



あおや和紙工房前広場では青空市が開催され、小畑のから揚げ・ポテト、河原のやきいも、早牛のチャンポンとともに、日置産の新そばがそばサークルによる手打ちそばとして賑やかに出店されました。午後からは日置のおもてなしとして、豚汁と山根の杵つき餅がふるまわれました。また、日置の多くの方のお世話により特産品と農産物の直売も行われ、中学生の頑張りもあって、来場された多くの皆さんに、この地の食の魅力味わっていただくことができました。

最後にお楽しみ抽選会が開催され、1等はなんと染織作家の山下健氏制作の絹のマフラーが当たるなど、大盛況のうちに「因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭」を終了することができました。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。



今年も
大人気の
ふるまい

中学生も大活躍



お楽しみ抽選会



国府町自治会視察にて

まちづくり協議会会長 城市 好春

9月29日(金)AM11:00頃、国府町自治会長井上様はじめ20名余りの方々がマイクロバスで来館されました。まず自己紹介から始まり、『人に優しく住みよい日置づくりのために』というテーマでまちづくり協議会の一年間の事業内容など15分間にわたりスライドとともに説明しました。なかでも重点的に話を進めたそば作りは、県道沿線の休耕田が雑草で覆われ景観が悪化するのを解消するためにまちづくり協議会全体で取り組んでいます。日置の玄関口に雑草を茂らせておくのではなく、日置に来られる方に少しでも自然のきれいな姿を見ていただこうと、伊藤前会長からそばを作っては？とのアイデアが出され実現しました。

初めは試行錯誤で失敗も多く、今に至ってやっと念願のそばが味わえるようになり、今年は試食会・収穫祭での出店ができ、多くの人に新そばを味わってもらい達成感を得て今に至っています。

また因州和紙産業が日置のきれいな水によって約1300年間守られ続けているなどの説明の後に館長と共に活発な意見交換が行われ、有意義な時間を過ごし皆さんが満足されていたようです。のちに訪問者を代表して井上様より感謝のお礼状を頂き安堵しました。

今後の行事等、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

環境部会の活動

環境部会長 棚田 潤一

日置の皆様には、まちづくり協議会を通じ地域の活性化にご協力いただき感謝申し上げます。とりわけこの一年間、環境部会においては部員のみならず多くの地区の皆様のご協力のもと、「環境整備・美化活動」に取り組んでまいりました。

特に9月17日に予定しておりました運動会前の環境整備は台風18号の直撃により運動会前日となりましたが、多くの皆様にグラウンド整備と周辺草刈りにご協力いただき、素晴らしい環境下で晴天のもと盛大に実施することができました。

また懸案となっておりました『そば畑の案内看板』も10月8日に早牛橋の県道側に設置を完了しております。看板は今までとは異なり、強固な基礎の上に設置しておりますので、色あせ朽ちても看板のみ交換で対応できます。(看板は4年～5年は大丈夫です。)

今年のそばの収穫状況が気になるころでしたが、なんとか1年間打てる程度のそばの実を確保することができました。11月15日には『そばサークル』の皆様にご新そばを打っていただき試食会を開催し、大変おいしくいただきました。新そばは11月19日のひおき収穫祭でも出店され、大変好評をいただいた次第です。

そば作りの取り組みも、適地の選択と拡大・ノウハウの蓄積・そば打ち名人の育成と有償販売等々の多くの課題も抱えておりますが、前向きに一步ずつ進めて行きましょう。

環境部会の活動も地域の皆様のご支援で何とか遂行でき、感謝申し上げますとともに、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



視察の様子



そばの花



運動会前の環境整備



そば畑の看板設置



日置産新そばの試食会

健康づくり講座に70人

福祉部会長 中宇地 節雄

福祉部会は、日置地区に暮らす人たちの健康寿命を延ばす活動に力をいれています。住みなれた地域でいつまでもお元気に暮らしてもらえるように、そして年齢を重ねてもできるだけ自分のことは自分でできるように、との願いからです。

10月21日(土)には、3回目となる健康づくり講座を開き、山根出身で鳥取赤十字病院医師の塩宏さんを講師にお迎えしました。会場の日置地区体育館には70人という多くの参加がありました。

「人生100年時代 健やかに輝いて生きるために」と題して講演された塩先生は、「健康長寿は求めれば得られる」と、体と脳を同時に使うことが大切だと話されました。

105歳まで長生きされた日野原重明医師の「若く生きる6カ条」を紹介され、

①子どもや若い人と交わる ②好奇心をもつ ③冒険する(勇気)

④新しいことを創める ⑤しなやかに生きる ⑥よい友をもつ

ことを提唱されました。

また、「百寿」の要因は、遺伝が2割、生活環境が8割であるとして、「今よりも10分間余分に(約1,000歩)歩くこと。歩かないことで肥満、糖尿病、ガンになりやすい」など運動の大切さとともに、長寿に効果のある食品を具体的に紹介されました。たいへんわかりやすいお話で、参加者にも好評でした。

来年3月11日(日)には、今年につづいて2回目の「健康づくりウォーキング」を実施する予定です。健康づくりとあわせて、日置地区の良いところの再発見にもつながるものと思います。ぜひとも多くのおみなさまのご参加をお待ちしています。



山根出身の医師、塩 宏先生



面白くて分かりやすいと大好評です



3月までの事業予定

- ★ 2月11日(日) 日置を語る会
- ★ 3月11日(日) 健康づくりウォーキング
- ★ 3月18日(日) 日置川清掃

本年中は皆様に大変お世話になりました。
 良いお年をお迎えください。
 来年もよろしくお願いいたします。

